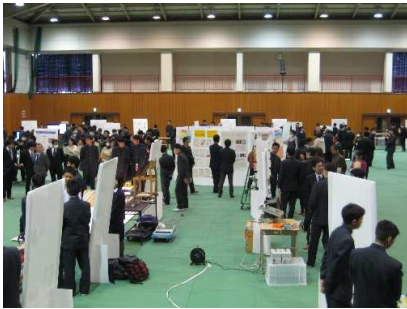


スゴすぎる3年生！ 3年間の集大成が今、ここに！ 校内SPH研究成果発表会



1月10日(金)に、多くのご来賓をお迎えして、校内SPH研究成果発表会が開催されました。この発表会は3年生がこれまでに学んだことを活かし、新たな課題に挑戦した「課題研究」の成果を発表する場です。それと同時に、SPHの取り組みで、身につける11のスキル、「TECH-Aスキル」を総動員し、さらにブラッシュアップしていく取り組みでもあります。

3年生の全ての課題研究班(37テーマ)が体育館にA0版のポスターを設置しました。まず午前中は1年生、2年生が交代で体育館に入り、それぞれのポスターのブースでポスターセッションが賑やかに行われました。部活等でお世話になっている3年生が、いつもとはまた違った様子で真面目に研究について発表をしている様子に、1・2年生も尊敬の眼差しで、説明に聞き入っていました。



午後のご来賓や保護者の方々、また県外からの視察の方々を前に、視聴覚室でプレゼンテーションを行いました。SPHの概要と、4科連携のものづくりプロジェクトについて、また全編英語でのプレゼンテーションにも挑戦しました。また、外部の方々へ向けたプレゼンテーションも行い、盛況のうちに終わることができました。今回のこのアプトプットの取組みでは、非常に高い教育効果が確認できました。今後のSPHの取り組みに大きな弾みをつける結果となりました。

どんなマイナスもプラスに変える！ 石坂典子氏講演会

本校SPHの3本柱の1つ、「Challenge&Humanity」では、起業家精神の育成と技術者として人間力を育むことを目標としています。この取り組みとして、1月14日(火)に産業廃棄物処理を本業とする石坂産業株式会社の代表取締役社長 石坂典子様を講師としてお迎えし、講演会を行いました。生徒にやさしく語り掛けつつも、情熱を帯びた口調が印象に残っています。



講演の題目を「どんなマイナスもプラスに変える～未来を創るために必要なこと～」として、お父さんから受け継いだ会社を、幾多の逆境にさらされながらも、熱いビジョンを掲げて日々奮闘し、見事世界に名を轟かせる企業へと発展させたストーリーをもとに、若い生徒たちに社会に出るのにあたっての心構え

や、環境問題を含めたこれから変革してゆく世界の、目指すべきビジョン等を語ってくださいました。

多くの生徒が感動とともに、多くのことを学び、ものづくり技術者としての倫理観、価値観、人生観をアップグレードし、今回の講演から元気をもらったことが、事後アンケートから読み取ることができました。



SPH川柳

使命とは「命」を「使」って世に尽くし
時代を紡ぐ喜びの舞踏